

次期システム契約までの経緯

情報処理センター長 長嶋 豊
センター員 大淵 寛

1. 契約期間について

教育用電子計算機システムは各高専とも賃貸借契約（レンタル）にしており、その期間は5年間になっている。この期間については数年前に本省の方針が変更され、それまでの4年間であったものが5年間に変更されている。本校システムは平成16年度末で契約が切れることになる。次期システムは平成16年度末から平成21年度末までとなる。

2. 仕様策定準備

仕様書案にとりかかる前に、本センターでは導入設備の範囲や目的を大まかにまとめた要求概要を作成し、複数の業者からアイデアやシステム構成図、カタログを集めた。それらを基に予算を勘案して実現可能な仕様書原案を作成する手順をとった。これにより標準的なシステム構成や性能も調査することができた。このときの要求概要では中央サーバ群と第1・第2演習室、CAD室の教育用端末までを含めていた。しかし、これは仕様策定の初期の段階で部分的に縮小されることになる。また、情報処理センター運営委員会でも平成15年9月の第2回会議から検討を開始して準備をしていた。

3. 仕様策定委員会

仕様書を作るための仕様策定委員会は各学科から教員1名と本センターから2名が参加した委員構成となった。詳細は次のとおり（敬称省略）

森川（機械工学科教員）
高比良（電気工学科教員）
坂口（電子制御工学科教員）
城野（物質工学科教員）
牧野（一般科目教員）
長嶋（情報処理センター長 電気工学科教員）
大淵（センター員 学生課専門技術班）

仕様策定委員会は平成15年12月から平成16年5月までに計5回開かれた。第1回は「2」で説明した要求概要を決めるのに要したので、具体的な仕様書案の検討に入ったのは第2回目（平成16年2月13日）からであった。開催日は次のとおり。

平成15年12月25日	第1回
平成16年2月13日	第2回
平成16年3月25日	第3回
平成16年4月9日	第4回
平成16年5月31日	第5回

会議は情報処理センターで作成した原案を検討して練り上げていく方法を基本としたが、原案はあまり詳細に決めておかず、できるだけ会議で多くの意見を取り入れる方針で進められた。そのため前例より会議回数は多くなった。結局、仕様書は6月1日に完成した。

検討当初に最も重要な課題であった導入システムの範囲は次のとおりに決定した。

第1 演習室パソコン群

CAD室パソコン群（現システムは購入品）

を統合管理するサーバ（LAN管理室に設置）

Web公開システム（LAN管理室に設置）

4．入札公告から落札決定まで

本件は高額な契約になるので、前例どおり政府調達扱いとなり、入札公告を官報に掲載して一般競争入札を行った。入札書受領期限までの日程は次のとおりであった。

平成16年 7月21日 入札公告官報掲載

平成16年 8月18日 入札説明会

平成16年 9月13日 入札書受領期限

結局、広告に対して8社が応じ、5社が入札した。

入札時に各社の提案内容を吟味して、本校の仕様を満たしているかどうかの審査をするために技術審査委員会を開いた。委員構成と開催日は次のとおり

中島（機械工学科教員）

品川（電気工学科教員）

嶋田（電子制御工学科教員）

平山（物質工学科教員）

三ツ廣（一般科目教員）

長嶋（センター長 電気工学科教員）

平成16年 9月21日 第1回

平成16年 10月5日 第2回

その結果、各社とも特に大きな問題はなく審査を通過した。

そして、10月18日に開札が行われ、株式会社理経に落札決定した。

5．導入予定

納入期限は平成17年3月24日となっている。2月21日から学年末定期試験の期間で、終わると4月初旬まで授業は無いので、本格的な納品やシステム構築は2月下旬以降になるはずである。また、この期間中にシステムやソフトウェアの取り扱い説明会を開くことになるはずである。特に三次元CADソフトや授業支援システム（教員と学生との通信や学生端末の監視ができるソフト）は全く新しい種類のシステムなので説明会は不可欠と思われる。